

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www12.plala.or.jp/hokjioka/> →変更:www.hokjioka.net E-mail : [codmokan@agate.plala.or.jp](mailto:codmokan@agate.plala.or.jp)

支援会員・寄金 3,000円 (年額)  
\*会員には、本通信を配布します。



《写真説明》 5月25日

## 農業実習：余市教育福祉村

本年第1回目、車2台に分乗して現地へ。昨年と同じく丘の中腹の畑に野菜アレコレ。天候に恵まれ、みんな良く働きました。

### ■■ INDEX ■■

- P1: 巻頭言～
- P2: ヒューマントラスト/  
スクール動向、普及活動、他
- p3: NPO 総会、会費納入など
- p4-5: 「スクールの学び」レポート
- p6: 余市農業実習+小樽
- p7: 行事写真、～巻頭言続き
- p8: 時事、カレンダー、後記、他

## 「田中正造のことば」

自由が丘月寒スクールスタッフ 川島知子

「真の文明は 山を荒らさず 川を荒らさず 村を破らず 人を殺さざるべし」

田中正造の1912年6月17日の日記の中に出てくる言葉です。

この言葉に出会ってからというもの、何故かこの言葉がずっと心に突き刺さっているのです。この言葉は田中正造の研究家が執筆した本の表題になっていて（「真の文明は人を殺さず」－田中正造の言葉に学ぶ明日の日本－小松裕著 小学館）、それをたまたま新聞の広告で見た時から忘れられなくなり、それを契機にこの本を含め、何冊かの正造関連の本を読みました。

私は田中正造とは同郷（栃木県佐野市）です。しかしながら、それゆえの怠慢からか、田中正造といえ、よく知られているイメージ「足尾鉍毒問題を闘った人、天皇に直訴した人」、という範囲の知識で、自分を満足させてしまっていたのだと思います。

そんな反省から、この5月末、埼玉県の高齢者施設にいる私の母を訪ねる2泊3日の日程の中、半日ほどを正造の史跡を巡る時間にあてる事にしました。思えば、若いころ漫然と通り過ぎた景色の中に、これらの史跡は存在していました。

田中正造生家・誕生地墓所・佐野市郷土博物館・春日岡山惣宗寺内墓所（栃木県佐野市）・雲竜寺（群馬県館林市）・渡良瀬遊水地（栃木県、群馬県、埼玉県、茨城県にまたがる）。これらの地を歩いていると、川のにおい・田んぼの水のにおい・川がつくる豊かな土壌のにおいや、穏やかにゆるく流れていく風が心地良い。作物にとって天国のような風土だとあらためて思う。 [p7に続く]